

みみよい

なお知らせ

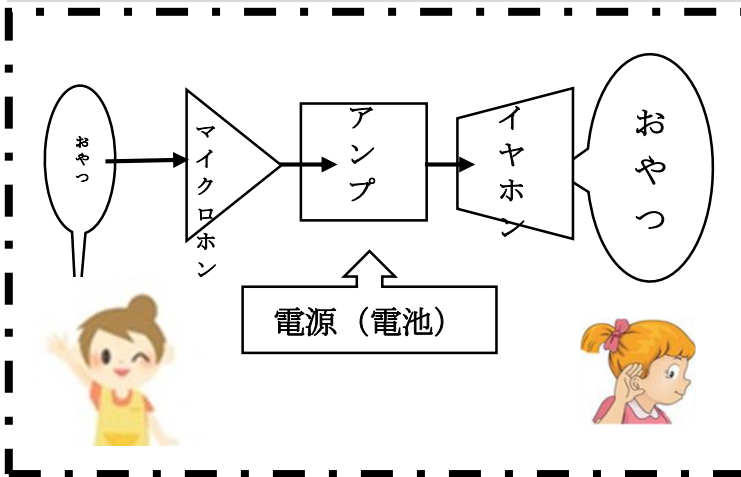
みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日



耳の日 3月3日 昭和31年制定 3・3語呂あわせ 電話発明者・ろう教育者 グラハム・ベルの誕生日
補聴器の日 6月6日 平成11年制定 片方を裏返すと「6と0」両耳の穴の形から
人工内耳の日 9月9日 平成17年制定 3の2倍が6、3倍が9と聴こえをとりもどしたい願いから

今回から聴こえのしくみをシリーズで解説します。

1回目 補聴器の仕組み



今月は『補聴器の仕組み』についてです。補聴器は大きく4つに分けることができます。集音された音はマイクロホンで電気信号に変換され、アンプで音を増幅したり、音質の調整をしたり(周波数特性を変化させる)、大きな音が入らないよう抑制したりします。その後、イヤホンで音に変換し、耳へ届けます。補聴器は音を増幅させるだけではなく、使用者が快適に使えるように工夫されています。快適に使用する為にも調整は重要です。



災害現場 市町と結ぶ遠隔手話スタートICT

Information and communication technology <情報通信技術>

○ICT (嬉野市)

センターの事業に「ICTを活用したコミュニケーション支援」があります。これはパソコンやタブレット端末を使って遠隔で手話通訳を行うもので、窓口に手話通訳者がいないところで補完的に行う支援であります。温泉街で有名な嬉野市。ユニバーサルデザインまちづくりを進められていて、この事業に取り組まれることになりました。

○ICT (みやき町) 安心して暮らせるまち構想

みやき町で取り組まれているバリアフリー化実績をさらに進めて町民一体となり安心して暮らせるまちづくりを「UD」化をキーワードとして進めます。まずは、ICTを使ってみやき町中原庁舎等に来所された聴覚障害者と庁舎職員のやり取りをサポートセンター職員がスカイプを使った遠隔通訳を近々開始します。

○佐賀県総合防災訓練

唐津南高校に想定した避難所とセンターでインターネットを利用した遠隔手話を行いました。何が起こるのか分からないのが災害。有効な支援方法を準備しておく必要があります。

Information and communication technology

嬉野市で手話言語条例

6月議会に提案

嬉野市では九州初、全国5番目となる「心の架け橋手話言語条例」を6月議会に提案されました。障害者基本法に言語として位置づけられ、手話による意思疎通を円滑にし、その理解と普及を図りたいと谷口市長は、提案理由を述べられました。

市議会でも可決されれば、7月1日から施行されます。

難聴・中途失聴者のための



赤外線落語&

ひと口佐賀にわか

7月19日(土) 10時開場 10時半開演

落語 落楽亭粋夢(山口俊治)さん

にわか 音成日佐男さん、野中勇さん、馬場儀昭さん
赤外線システム・磁気ループにより聴こえのサポートをします。

この公演会は富士警備保障(株)様のご協賛をいただいています。

なお、別途手話落語を計画しております。



5月～6月のできごと

第1回運営委員会 活発に意見交換



5月28日（水）センターの円滑かつ適正な運営を図るため、有識者による第1回運営委員会（委員長 佐賀大学文化教育学部芳野教授）が開催されました。平成26年度事業計画及び予算、利用者の状況、苦情等の報告、災害時のコミュニケーション支援、また補聴器の貸し出しの件についてなど活発な意見が交わされました。

取りくみができるものや、引き続き検討を必要とするものがありました。次回は、11月に予定されています。

要約筆記者養成講座始まる

6月4日（水）要約筆記者養成講座が開講しました。手書きコース10名、パソコンコース4名からのスタートです。開講日、2回目共に申込者全員参加でした。年齢が40代から70代と幅広く、和やかなムードで講座は進んでいます。全員の方が要約筆記者になっていただけるよう講座の運営をしていくことにしています。

ご案内



8月16日（土）

サガン鳥栖 夏休みファミリーデー

サガン鳥栖—FC東京戦が、夏休みファミリーデーとして、8月16日（土）19時キックオフされます。この試合では、18000人の観客全員が、手話を使って応援したり、障害者、高齢者、外国人の無料招待など公式戦のUD化が企画、準備されつつあります。

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12（佐賀商工ビル4階）

TEL:0952-40-7700 FAX:0952-40-7705

メールアドレス:info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス:http://saga-mimisapo.jp/

熊本県小野所長来館 特別講義

6月3日（火）字幕制作ボランティア講座では、全国でも先がけて力を入れている、熊本県聴覚障害者情報提供センターの小野所長より『聴覚障害者向け映像制作』の講義がありました。

小野所長は、音声をそのまま文字化するのではなく、聴覚障害者が快適に読むため、『字幕を表示する時間の長さ』を考え、映像にある視覚的な情報と字幕を足して1になる、そのような情報を得られる字幕が求められている。情報が手に入るというアクセシビリティと、その情報がわかりやすいかどうかのユーザビリティが重要であるとの指摘をされました。

< 開館時間 >

9:30 ~ 18:00

9:30 ~ 21:00

< 閉館日 >

毎週 木曜日、祝日